

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【公表番号】特表2012-514771(P2012-514771A)

【公表日】平成24年6月28日(2012.6.28)

【年通号数】公開・登録公報2012-025

【出願番号】特願2011-545396(P2011-545396)

【国際特許分類】

G 03 B 21/60 (2006.01)

G 03 B 21/14 (2006.01)

G 03 B 21/00 (2006.01)

G 02 B 5/02 (2006.01)

【F I】

G 03 B 21/60 Z

G 03 B 21/14 Z

G 03 B 21/00 F

G 02 B 5/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月20日(2012.12.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の方向では第1の視野角 A_H で光を散乱させ、前記第1の方向に直交する第2の方向では第2の視野角 A_V で光を散乱させる非対称な光拡散板であって、 A_H / A_V が少なくとも約2である、非対称な光拡散板と、

前記非対称な光拡散板によって散乱されない光を反射せると共に、可視における入射角が実質的に0度の場合における第1の平均反射率 R_0 と、可視における入射角が実質的に45度の場合における第2の平均反射率 R_{45} とを有する実質的に正反射性の反射板であって、 R_0 / R_{45} が少なくとも約1.5である、実質的に正反射性の反射板と、

前記正反射板によって反射されない光を吸収する光吸収層と、を含む、光拡散型光学構造体。

【請求項2】

第1の方向に概ね沿って画像光を像面に投射する画像投射光源であって、前記第1の方向が、水平方向と角度 α_1 をなす、画像投射光源と、

前記水平方向と角度 α_2 をなす第2の方向に概ね沿って周囲光を発する周囲光源と、

前記像面内に配置されていると共に、前記水平方向沿いの第1の視野角 A_H と、前記水平方向に直交する垂直方向沿いの第2の視野角 A_V を有する非対称な光拡散板であって、 A_H / A_V が少なくとも約2であり、 $A_V / 2$ が α_1 よりも大きく、かつ α_2 よりも小さい、非対称な光拡散板と、

前記非対称な光拡散板によって散乱されない光を反射せると共に、可視における入射角約 α_1 での第1の平均反射率 R_1 と、可視における入射角約 α_2 での第2の平均反射率 R_2 とを有する実質的に正反射性の反射板であって、 R_1 / R_2 が少なくとも約1.5である、実質的に正反射性の反射板と、を含む、投射システム。